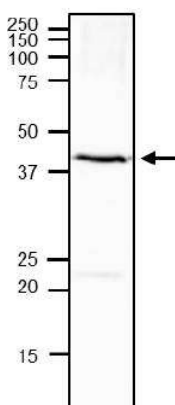


抗 Rnq1 (*S. cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクローナル

商品コード	62-301
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ウサギ抗血清から proteinA で精製した
抗原	Rnq1 タンパク質 C-末端に相当するペプチド CSQQNNNGNQNRV
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>S. cerevisiae</i> Rnq1。他の種についてはテストしていない。
アプリケーション	ウェスタンブロッティング (1/1,000)。他の用途は試していない。
背景	グルタミンとアスパラギンに富む Rnq1 タンパク質は酵母プリオンタンパク質のひとつである。Rnq1 タンパク質の機能はわかっていないが、[<i>pin</i>]と呼ばれる非感染性の可溶性モノマー形および[<i>PIN</i>⁺]と呼ばれる不溶性のアミロイド状凝集形として存在する。不溶性の凝集形は優性であり、細胞質を介して細胞間に伝搬する。Rnq1 タンパク質は別のプリオンである[<i>PSI</i>⁺]を <i>de novo</i> で誘発する。分子シャペロン Hsp104 はポリグルタミンの凝集体形成に、およびプリオン表現形の維持に重要である。すでに存在する凝集体がシャペロン依存性の酵母プリオンの発達に必要である (文献 3)。
Data Link	UniProtKB P25367 SGD RNQ1/YCL028W
画像	 図. 出芽酵母粗抽出液中の Rnq1 タンパク質のウェスタンブロット <i>S. cerevisiae</i> strain BY4741 粗抽出液 (35 µg) をウェスタンブロットで解析した。抗体は 1/1,000 希釈で用いた。Rnq1 タンパク質の分子質量は 42.6 kDa である。
文献	この抗体は下記の論文で用いられている。 KimuraY <i>et al</i> "The role of pre-existing aggregates in Hsp104-dependent polyglutamineaggregateformation and epigenetic change of yeast prions." <i>Genes to Cells</i> 9: 685-696 (2004) PMID: 15298677
関連製品	#62-300 抗 Sup35/PS+ (<i>S. cerevisiae</i>)抗体、ウサギポリクローナル #62-302 抗 Cdc37 (<i>S. cerevisiae</i>)抗体、ウサギ抗血清
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	